

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 1101 政12

事務事業名	自転車駐車場管理運営事業経費	担当組織	都市整備部	土木管理課
-------	----------------	------	-------	-------

事業特性										
事業を開始する年度	30年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	一般	計画事業No.				
	単独ノ補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール	9	11	17		
事業を構成する予算事業	① 自転車駐車場管理運営経費			② 登録制自転車置場経費						
	③ 南長崎スポーツ公園管理運営経費									

政策体系（令和4年度基本計画）					
地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち	政策	魅力を支える交通環境づくり		
施策	自転車利用環境の充実	政策番号	6-3-3		
関連する個別計画	第二次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画	計画策定年度	令和4年度	計画期間	5年

1. 事業の概要・指標の達成状況									
(1)実施の対象(具体的に記載)	区民・来街者・自転車等利用者								
(2)事業の目的・期待する効果	自転車駐車場の利用を促進することにより、自転車を利用しやすい環境を整備するとともに放置自転車を抑制させる。								
(3)事業概要	自転車駐車場及び登録制置場を適切に管理することにより、自転車利用者の利便性を向上させる。								
(4)目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理施設の収支改善、巣鴨地区指定管理者公募準備、財政援助団体監査 ●巣鴨地区(令和2年度～令和6年度):巣鴨4箇所、駒込、西巣鴨、目白地区(平成31年度～令和5年度):目白3箇所、千登世橋 ●自転車駐車場金銭出納及び管理運営業務受託者(シルバー人材センター)の実地検査の実施 ●子乗せ電動自転車(大型自転車)等の思いやりゾーンの設置拡大 							
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	① 自転車駐車場利用率		↗	%	102	115	107	93.0%	115
	② 登録制置場利用率		↗	%	99.6	105	99	94.3%	105
	③ 放置自転車台数		↘	台	400	410	431	94.9%	410
指標の説明	自転車駐車場ごとの利用率を算出し、利用状況の推移を確認する。								
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染による働き方改革等により自転車の利用方法が変化してきているため。						
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	① 自転車駐車場延利用者数		↗	人	2,251,166	2,400,000	2,431,174	101.3%	2,350,000
	② 登録制置場利用者数		↗	人	48,188	63,000	52,212	82.9%	60,000
	③								
	指標の説明	自転車駐車場等の定期利用者・当日利用者・一時利用者、それぞれの延数をカウントし利用状況の推移を確認する。							
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染による自転車駐車場等の利用形態が定期利用から当日利用に変化してきている。						

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度		増減 (R4決算比)	
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算			
事業費	A	451,006	445,157	473,987	465,992	98.3%	485,817	19,825	
人件費	【正規(人数)】	—	(3.88)	—	(1.30)		(1.50)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.14)	—	(2.00)		(2.00)	—	
	人件費B	B	—	33,484	—	18,250		19,950	1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	478,641	—	484,242		505,767	21,525	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D		218,237	234,051	235,679	234,051	-1,628	
	地方債・その他			48,296	51,274	48,775	50,274	1,499	
	一般財源	E=C-D	—	212,108	—	199,788		221,442	21,654

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和4年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	コロナや働き方改革等により自転車利用方法が変化してきているため、達成率が低いままとなっている。	
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。				
①目標に対する成果状況を踏まえた課題					
利用者のさらなる利便性向上のための利用方法の拡大検討、導入					
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)					
子乗せ電動自転車置場等の置場エリアの拡充					
(2)業務(事務)改善にむけての取組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	A	根拠	キャッシュレス決済導入検討	
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。				
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)				
	利用者のさらなる利便性向上のための利用方法の拡大検討、導入				
	②現状の実施状況における所管課の認識				
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。		有	選択の理由	自転車が多様化しているため、ラック等の更新が必要	
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。		有	選択の理由	指定管理施設の導入等について比較検討している。	
サービスに係るコストは適正か		適正	選択の理由	老朽化した施設が多く修繕料がかさんでいる。	
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。		無	(有の場合) 事業名		
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況					
対応、改善を既に行った		はい	はい	取組内容及び効果 キャッシュレス決済導入検討、事業者ヒアリング、指定管理制度の見直し	
対応・改善予定(上記ではいの場合も更なる)		有	無	対応、改善の予定がない理由	
選択肢に関わらず		有	無	老朽化施設の更新と駐輪場使用料の精算方法の検証	
対応、改善の内容		有	無	予算措置を伴わない実施との比較検討	
予算措置		有	無	予算措置を伴う理由	
予定時期				令和6年度	
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒	B	根拠	社会的・経済的弱者に対する料金免除制度を維持し、広く自転車駐輪場を利用促進させ、放置自転車を抑制する。	
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。				
	①区が実施する理由(複数選択可)				
	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		法律の要請を受けて行う事業である。		
民間事業者等に同様のサービスがない。		○ その他(理由) 社会的弱者へ配慮した運営が必要のため			
②区民ニーズ					
区民ニーズを表す指標		有	有	指標番号(活動) ①	
「有」「無」ともに記入				指標番号(成果) ①	
区民ニーズに対する認識		有	有	推移 増加	
				推移 増加	
				サービス利用者数	
				社会的・経済的弱者に対しては駐輪場利用料等の減額免除が必要	

総合評価(d=a+b+c)	ランク3
---------------	------

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	<p>当日利用・一時利用は硬貨のため、高額紙幣のつり銭が不足し、また、利用者には精算前に両替等の不便を強いている。硬貨払込手数料がかかり、区及び受託者に負担となっている。現金取扱いによる事故を未然に防ぐためにもキャッシュレス決済の導入が必要である。また、指定管理施設の未導入エリアの導入検討を進め、民間サービスを活用した利用者サービス向上を図っていく。</p>
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	なし
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	<p>交通系ICカード決済導入の検討。鉄道事業者や精算機ベンダー等関係会社にヒアリングを実施している。また、手数料等の扱いについてキャッシュレス決済導入課、会計課等に事前協議を実施した。</p>
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	令和6年度からのキャッシュレス決済導入を目指し、各駐輪場の精算方法等を精査している。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	駐輪場利用者からは、キャッシュレス決済導入を進めてもらいたい等の要望が多くいただいている。
⑥上記⑤に対する対応	自転車駐車で導入するための検討を進めている。

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	現況の自転車駐車を管理するために妥当の予算である。
---------------	------	----	---------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B:改善・見直し
---	----------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

新型コロナにより駐輪場の利用方法が変化しつつある中、指定管理者の収支改善と駐輪場のキャッシュレス化等利便性向上に向けた検討が必要である。